



新年を迎えて

(福)光友会 理事長 五十嵐 紀子

巳年、あけましておめでとうございます。

振り返れば、雪の降る中で震えながら開所式を行ってから早20年が過ぎました。その前から準備委員会を立ち上げて、いろいろな所へ見学に行ったり、議論を重ねたりしながら、この建物が完成致しました。それがわずか数年前の様な気がしています。

その後、グループホームを少し離れた所で開所したり、お隣のビルの一階をお借りして、事業を展開したり、さらにそのビルの一区画をお借りして居場所作りをしたりと次々に事業展開をさせて頂いて居ります。

そうした状況の中で、最近では各種テーマをもうけてフォーラムを行ったり、又、家族同様の集まりを持ったり、チャリティーコンサートを毎年開催したりと生き活きた活動が展開されているのを見るにつけ、いぶきの建物は建造物としてではなく、まさに、いろいろな人々の居場所になっていると強く感じています。

又、今年も関係者、利用者の皆さんと楽しく良き交流の場、支援の場であり続けたいと役職員一丸となって頑張りますので、何卒よろしく願いいたします。



いぶきだより Vol.76 目次

- 1 ページ 新春のご挨拶 2 ページ いぶきまつり 3 ページ どりーむ新商品・余暇活動
4 ページ 障がいのある方の暮らし・職員の入退職・職員のひとりごと 別紙 いぶき後援会会報

ご来場ありがとうございました!

いぶきまつり 2024

いぶきと近隣地域の4施設（新杉田地域ケアプラザ、磯子スポーツセンター、横浜市南部地域療育センター、新杉田公園）がイベントを同日開催する「すぎたから♡つな5（つなごー）いぶきまつり2024」を10月12日（土）に開催いたしました。

5施設合わせて900名、いぶきには400名を超えるお客様にご来場いただきました。横浜市立浜中学校吹奏楽部の皆さんによるオープニング演奏からスタートし、開会式では磯子区高橋功区長にもご挨拶をしていただきました。

また、いぶきが開所20年を迎えることを記念して功労者表彰も行い11組の方々に表彰状を贈らせていただきました。

地域の福祉施設や自治会、有志の皆様、関係機関に出店していただく模擬店はつき立てのおもちやおでん、焼きそば、焼き菓子などの食べ物から手作りアクセサリー、バザー品の販売まで20の店舗が賑やかに軒を並べました。



ステージ会場では、開会式のオープニングに続いて華やかな音色を聴かせてくれた浜中学校吹奏楽部をはじめ、和太鼓グループの久良岐太鼓さんのエネルギッシュな演奏やゴスペルコーラスの横浜ゴスペルデライツさんの明るく情感溢れる歌声が響き渡り、観覧者を魅了していただきました。

更にはいぶきと他3施設の4か所に設置されたスポットを巡っていただくスタンプラリー、豪華賞品を持ち帰っていただく恒例のお楽しみ抽選会まで多彩な企画を多くの方々にお楽しみいただきました。

開催にあたりご協力ご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。





かふえ・どリーむ 新商品

パラコードをご存じですか？

細いナイロン製の丸紐で、アウトドア用品店などで見かけることが多いかと思ひます。最近、このパラコードを編んでハンドメイドのストラップやブレスレットなどを販売しているのを、SNSなどで目にされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そのパラコードの商品をドリームで制作し、9月より新商品として販売を開始しました。



色も柄もバリエーション豊富で、色の組み合わせ次第で、格好よくもなり、可愛くもなります。利用者さんは作る際、どんな商品にしたいかをイメージしながら、色や柄を選んで制作しています。また、編むときは少し力が必要ですが、編み方が均一になるように力の入れ方を調整しながら編むようにしています。

ハンドストラップ（800円）・キーリングストラップ（500円）・ペット用首輪（500円）を販売しています。

パラコード商品以外にもリボン製品などの自主製品の販売や、ホッと一息つける喫茶店も営業していますので、いぶき1階かふえ・どリーむにぜひお越しください。



スマホにもつけられます



横須賀港めぐり (生活支援 余暇活動)

9月21日(土)に、「横須賀軍港めぐりに行こう！」の余暇を開催しました。

晴天でまだまだ暑さの残る中でしたが、イージス艦や護衛艦「いずも」など様々な艦船に興奮した様子で写真を撮ったり、乗務員さんの説明に耳を傾けたりしていました。軍港巡りの後はフードコートでご飯を食べ周囲をゆっくり散策しました。



障害のある方の暮らし ～住まいを考える～



横浜市住宅供給公社との勉強会をはじめました

地域共生社会の実現にはその拠点となる「住まい」が必要です。
いぶきでは基幹相談支援センターが中心となって横浜市住宅供給公社と共催で勉強会を実施しています。障害を理由に賃貸を断られることがないようにするために、福祉支援者と不動産関係の方々が一同に会して課題を検証し、双方の立場でできる支援について意見交換をしながら、お互いのより良い連携のあり方を模索しています。



他業種間の勉強会ですが、居住支援という目的が共通しており、活発な意見交換がされ、お互いを知る機会となっています。

この勉強会は自主的な取り組みとして、いぶきと公社が昨年度から話し合いを重ねて準備をし、今年度に全市の基幹相談支援センター・生活支援センター・自立生活アシスタントに声をかけ、全3回の予定で実施しています。

現在は有志の勉強会という形を取っていますが、参加された不動産関係の方から福祉支援について相談をいただいたり、不動産団体が主催する研修でも取り入れたいとお申し出をいただいたり、少しずつつながりが生まれてきました。勉強会には横浜市職員も視察に来てくれるようになり、今後は他業種および官民協働の事業として発展できると良いと考えています。



職員の入退職

入職 9月 1日付（自立生活アシスタント）^{とがし のりこ} 富樫 紀子
10月 1日付（いぶき）^{はらだ さちよ} 原田 幸代 （基幹相談）^{むらせ くみこ} 村瀬 久美子
退職 9月30日付（いぶき）室 美里

職員のひとりごと



私は年に数回、旦那さんの実家がある新潟へ家族で帰省します。新潟は、お米や魚、他にもおいしいものがたくさんあります。最近ハマっているのは、実家の近所のスーパーで売っているサーモン塩こうじ漬けです。ねっとり濃厚な生サーモンと、いくらと数の子のアクセントが絶品です。そしてお土産で必ず買うのが、サラダホープという新潟限定のおせんべい。私は枝豆味がおススメです。新潟へ行ったら、ぜひお試しください。



（看護師 上ノ山美和）